

- (1) 実施機関名：
海上保安庁
- (2) 研究課題（または観測項目）名：
海域における地形・活断層調査
- (3) 最も関連の深い建議の項目：
1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進
(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化
イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域
- (4) その他関連する建議の項目：
- (5) 本課題の 5 か年の到達目標：
巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。
- (6) 本課題の 5 か年計画の概要：
巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。
- (7) 平成 23 年度成果の概要：
南海トラフ海域において、海底地形の調査を実施した。
- (8) 平成 23 年度の成果に関連の深いもので、平成 23 年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：
泉紀明，加藤幸弘，西澤あずさ，伊藤弘志，渡邊奈保子，中田高，後藤秀昭，植木俊明，梶塚，2011，
3 秒グリッド DEM から作成したフィリピン海プレート北縁部の 3D 画像，海洋情報部研究報告第
47 号
- (9) 平成 24 年度実施計画の概要：
巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形等の調査を継続する。
- (10) 実施機関の参加者氏名または部署等名：
海洋調査課
他機関との共同研究の有無：無
- (11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先
部署等名：海上保安庁海洋情報部海洋調査課
電話：03-5500-7125
e-mail：下記 URL の問い合わせフォームから問い合わせください。
URL：http://www1.kaiho.mlit.go.jp/
- (12) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者
氏名：成田学

所属：海上保安庁海洋情報部海洋調査課

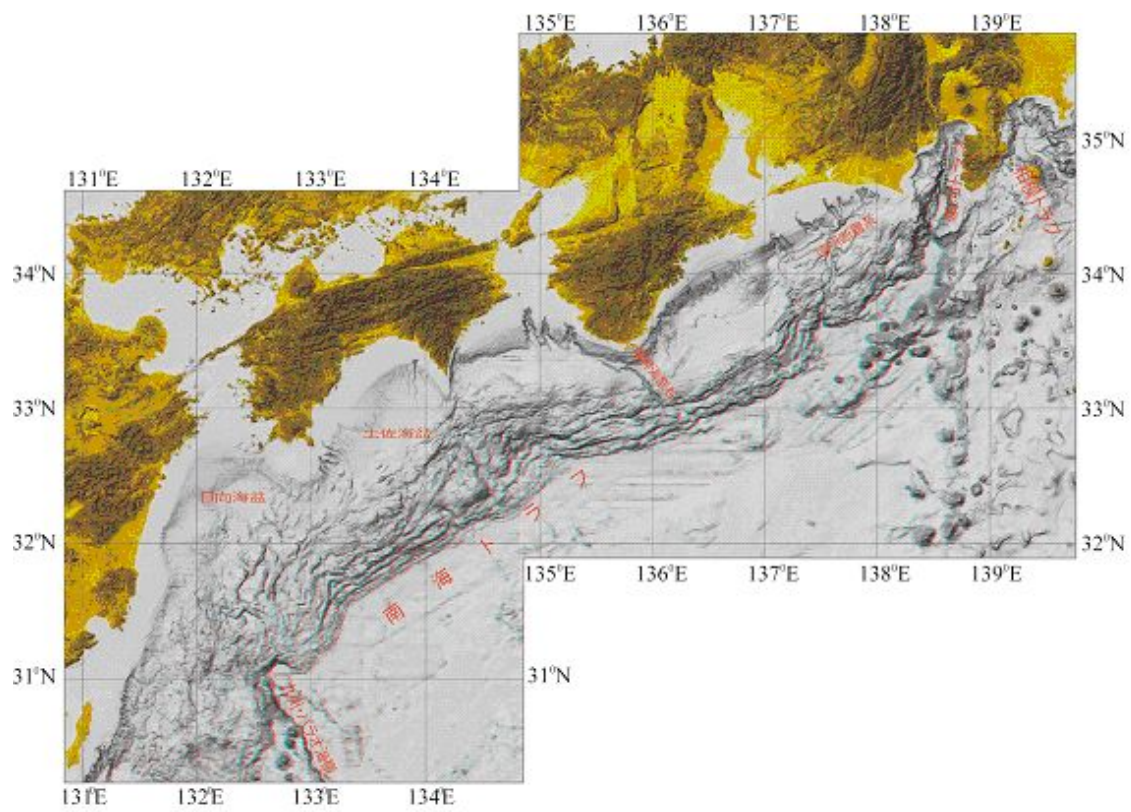


図 相模トラフ～駿河トラフ～南海トラフ周辺の海底地形